

2018 度 小委員会活動成果報告

(2019 年 1 月 7 日作成)

小委員会名	空地アーバニズム小委員会	主 査 名：遠藤新 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：小浦久子 主 査 名：遠藤 新
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】 少子高齢化、人口減少と経済縮退を背景として空き地が増加、常態化していく都市においては、建築的利用を前提とした過渡的な状況として空き地を捉えず、「空いていること」に価値を見出し活用する方策こそが求められる。空き地が常態化してもなお人が都市に魅了され暮らし続けるには、空き地から人間と都市の関係を再考することが必要ではないか。本小委員会は、個々の空地対策のみに着目するのではなく、空き地が増加・常態化していく都市のあり方そのものを抜本的に問い直し、都市のレジリエンスやサステナビリティ、あるいは都市の魅力や文化、アイデンティティを継承するための空地デザインについて研究する。</p> <p>【各年度活動計画】 2017 年度 ・国内空地デザイン事例の類型別ケーススタディとデータベースの充実 ・過年度活動成果を踏まえ、公開シンポジウム等を企画実施 2018 年度 ・空地デザインの方法についての試論を整理 ・上記の試論をベースとした公開シンポジウムや PD 等の企画実施</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 遠藤新 (工学院大学)、秋田典子 (千葉大学)、阿部俊彦 (早稲田大学)、泉山墨威 (東京大学)、角館政英 (ぼんぼり光環境計画(株))、窪田亜矢 (東京大学)、園田聡 (ハートビートプラン)、土橋悟 ((株)都市環境研究所)、中尾俊幸 ((株)RIA)、長濱伸貴 (神戸芸工大学)、星野裕司 (熊本大学)、安森亮雄 (宇都宮大学)	
設置 WG		
2018 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス：http://openspacedesign.club

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (6/1, 11/26, 12/19, 2/1, 2/27, 3/14)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	研究懇談会の開催 (空き地の公共的利用を促す空地デザイン)
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	夏の大会にて研究集会 (研究懇談会) を実施、空地アーバニズムの重要論点や課題について集中的な議論を実施できた。
委員会活動の問題点・課題	行事・催し物を通じて社会に対する発信を引き続き行いたい。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。